

公益財団法人滋賀県国際協会第4期中期計画

(案)

『実践の輪を広げよう』

	現状・課題	取組の方向性	取組の柱・主な事業・目標指標
国際感覚に優れたひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世間では国際的な関心は十分とはいはず、特に若い世代には内向きの傾向がみられる ○ 排外的な社会の風潮、無理解・無関心、偏見や差別等に起因するトラブルの発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界情勢に強く関心を持ち、多様性を尊重し、グローバルな視点でものごとを考え、行動に移すことができる人材の育成を進めることが重要である ○ 多文化・多様性等についての正しい理解や寛容性を育む必要がある 	<p>グローバルな視点で考え方行動できるひとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材づくりプロジェクト 新規・重点 <p>【目標指標】 新教材のデモンストレーションや新教材に関連した出前講座の実施箇域数 … 2030年度：全7箇域</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民間で当協会の存在や事業内容が依然として十分に認知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な広報・PRを通して協会の認知度を向上させる必要がある 	<p>専門性を活かした情報収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した効果的な情報発信 新規・重点 <p>【目標指標】 LINE公式アカウントの友だち登録者数 … 2030年度：500人</p>
多文化共生の地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての県民が多文化共生の推進を自分ごととしてとらえ、多文化共生の意識を地域全体に根付かせることが重要 ○ すべての地域住民が主体となって行動する必要がある ○ 地域の外国人の増加等に対して具体的にどのような対応が必要か知りたいと考えている団体や地域住民のニーズに応じた取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における多文化共生の意識の底上げを目指す ○ 人材リストを活用し、講師派遣を通じて地域での活躍の場を創出し、地域の活性化と多文化共生の推進に寄与する 	<p>多文化共生の意識が根付く地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関する事業等のコーディネート 重点 <p>【目標指標】 人材リスト等を活用した多文化共生に関する講座への講師派遣数 … 2030年度：50回（累計）</p>
国際交流・国際協力、多文化共生の活動が活発になる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の担い手の高齢化・人材不足が顕著 ○ 外国人県民も含む担い手の発掘・活躍する機会の提供が必要 ○ 県民・企業・行政の特性を活かした協働の観点で、活動が持続的に展開される環境づくりを図る必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内で活動する国際交流・協力関係団体とのネットワークを構築し、地域における市民活動団体の活動を促進する 	<p>ボランティア・市民活動団体の活動促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報の発信 ・滋賀県国際交流推進協議会の運営支援
協会の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業承継の担い手の確保・育成に加え、会員の確保が協会基盤の安定に向けて引き続き重要 ○ 自主財源の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公益活動を維持するための安定的な収益の確保等に向けた取組が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立性の確保 <p>【目標指標】 自主財源比率 … 2030年度：11.5%</p>